

第 2 学年課題研究 <文型> 第 5 回

教員用 授業の流れ (修正版)

1. 授業実施場所

各教室

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献

3. 教員の準備するもの

なし

4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	15:20 ～	<p>～前回の続きから～</p> <p>○本日の中心は『研究計画書』を完成させることである。(課題研究ノート P24~P25) 授業後に回収し、担任・副担任でチェックすることを伝える(チェック項目について P23)。また、不十分なものは書き直しをすることになることを伝える。授業後に提出できない生徒も 5 月 31 日をめどに提出するよう伝える。</p> <p>○参考文献を P35 に書くように指示する。 (文系の課題研究では参考文献がとても大事であることを伝える。)</p> <p>○研究計画を立てながらアンケート調査 (P16,17)、インタビュー調査(P18)、参与観察[関心を抱いた組織やグループにその一員として参加(参与)しながらデータを収集する手法](P19)、実験の準備(P20,21)など、どの手法で研究していくのか話し合う。なお、文献調査だけで課題研究を進めていくグループがあってもよい。</p>	<p>《一部のグループがやっている部分》</p> <p>○『仮説の設定と検証』を記入する。(課題研究ノート P15 課題研究メソッド P65 参照)</p> <p>《多くのグループがやっているところ》</p> <p>『研究計画書の作成』にとりかかる。</p> <p>★1年間かけて行う研究が十分なものになるように、しっかりとした研究計画を立てるよう伝える。</p> <p>○先生方のチェックページは、課題研究ノート P23。</p> <p>★担任・副担任で手分けをして P23 で研究計画書をチェックする[6月12日の授業までに]。不十分な生徒は6月12日の課題研究授業時に返却し、修正させる。研究計画書がそのまま良いグループは6月12日から研究を開始する。 (ほとんどないと思われる。)</p> <p>★研究課題と仮説・研究計画書の作成の評価をして下さい。</p>
	16:07	<p>★『研究計画書』(課題研究ノート P24~P25)を提出する。</p>	<p>★担当分野ごとにメンバー・研究テーマと教員の評価を入力して下さい。(入力先: hiroba→2018 全日→46SS→2018_課題研究→2年文型 のメンバー・テーマ入力ファイル・担任入力用評価)</p>